

まじはら

「フシャイの提案」

「アブシャロムも、イスラエルの兵士も皆、アルキ人フシャイの提案はアヒトフェルの提案より優れていると思った。これは主がアブシャロムに災いを下そうとして、アヒトフェルの優れた謀を打ち壊そうと決めておられたからである。」

(サムエル記下 第17章14節・旧約聖書494頁)

はじめに

サムエル記の時代、不信仰にも神を捨てた生活をしていました。しかし、その中で、神は民たちを憐れみ、御言葉を語り続けておられました。サムエルの「偉大な御業を見よ」は民たちの信仰を高め、ヨナタンの「大小は問題ではない」は難題を乗り越える信仰を促しました。「主の名によって戦う」とのダビデの言葉は、主の圧倒的な力を仰ぎ勝利を引き寄せる言葉です。ナタンはそのダビデに「私があなたを選び、あなたは家を堅く据える」との預言を伝えました。アブシャロムの反乱

ダビデの3男アブシャロムが王位を狙い始めたのは、兄アムノンを殺害した事件後でしょう。その事件はアムノンにも非があり、不問に帰されましたが、その頃から父ダビデを批判し、自分の人気を得るような工作を頻繁に行うようになりました。「人々の心を盗んだ」(15:6)彼は、満を持して、クーデターを起こします。

神に告げられた言葉

アブシャロムのクーデターを支えたのはアヒトフェルでした。彼の提案は神から与えられた預言のようだと受け取られるほど優れたものでした。ダビデはたちまちに追い詰められ、嘆き悲しみながら、はだして王宮を脱出しなければなりません。相手がアブシャロムだったこと、長年仕えてきた家来たちだけでなく、アヒトフェルがいることはダビデにとって脅威でした。戦う力も失せていったはずです。

フシャイ

敗色濃厚の中、ダビデは「アヒトフェルの助言を愚かなものとしてください」(15:31)と思わず祈ったその直後、現れたのがフシャイでした。ダビデは神が遣わした器だと感じ、「アブシャロム軍に潜入し、アヒトフェルの助言を失敗させよ」と指示、フシャイにすべてを委ねます。

そして、その時が訪れます。

アブシャロムに進言したアヒトフェルの策は、実行されればダビデを追い詰められる完璧な作戦で、皆が納得したのですが、なぜかアブシャロムはフシャイにも意見を求めます。フシャイはここぞとばかり、アヒトフェルの案を否定し、ダビデが有利になる策を提案、すると、アブシャロムを含めそれを聞いたすべての者がフシャイ案に賛成したのです。

ここで注目すべきは、「これは主が」なされたことだったと明記されていることです。振り返ると、ダビデは逃げる前から守られていました。逃げながらも支えられ、従う兵士たちも多くなっていきました。そして最後には遣わしたフシャイの言葉を用いて勝利をさせたのです。

ダビデのように数多くの苦境を脱してきたパウロは「キリストという宝を、私の中に納めているから、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方に暮れても失望しない、倒されても滅びない」(コリント二4:7～)と言っています。私たちは、主イエスと共に歩んでいることを忘れてはなりません。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「アブシャロムも、イスラエルの兵士も皆、アルキ人フシャイの提案はアヒトフェルの提案より優れていると思った。これは主がアブシャロムに災いを下そうとして、アヒトフェルの優れた謀を打ち壊そうと決めておられたからである。」(サムエル記下 7:8～9、11～13)

「私たちは、この宝を土の器に納めています。計り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。私たちは、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、迫害されても見捨てられず、



倒されても滅びません。私たちは、死にゆくイエスをいつもこの身に負っています。イエスの命がこの身に現れるためです。」(コリントの信徒への手紙二 4:10)

ダビデは窮地に陥りました。行き詰まり、自分はもうだめかもしれないと思ったはずですが、しかし、神さまは、思ってもいなかったような方法で、て勝利を与えられました。パウロが言っているように、私は主イエスを私の宝としてこの身に納めています。行き詰まらないのだと信じさせてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (24) 第1章26節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「あなたがたが災いに遭うとき、私は笑い 恐怖に襲われるとき、私は嘲る。」

◎口語訳 「わたしもまた、あなたがたが災にあう時に、笑い、あなたがたが恐慌にあう時、あざけるであろう。」

◎新改訳 「それで、わたしも、あなたがたが災難に会うときに笑い、あなたがたを恐怖が襲うとき、あざけろう。」

「私は笑い」

口語訳では「わたしもまた」、新改訳では「わたしも」となっています。つまり、知恵を「拒み」、「意に介さず」「知らぬ振りをし」「懲らしめに応じない」姿勢に対し、「知恵も」、同様の態度を取らなければならないと言っています。

知恵を拒絶した場合、災いがもたらされます。この災いとは、自然災害のようなものではなく、自分の知恵のなさが原因によって引き起こされる人間関係の問題でしょう。

自分の人生がうまくいかないことを人のせいにする人がいます。しかし、おそらく、そのような人はどこに行っても、同じような悩みを抱えるに違いありません。自分に原因があるのだと自覚している人は、まだ聞く耳があるだけよいかも知れません。知恵はどんな時にも、語り

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

かけているのですから、それを聞けるチャンスがあるからです。

「知恵が笑う」との表現は、喜んではしゃぐ、祝うとの意味を持ち、その結果を見て、あざ笑うように「ほら、言ったこっちゃない」というイメージです。

「恐怖」は、自分が体験したことのないような不安に陥った状態で、対処の仕方がわからないため、右往左往する、その時にも、知恵は同様の厳しく、突き放すような態度を取ることが分かります。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

テサロニケの信徒への手紙二第1章4節「あなたがたがあらゆる迫害と苦難を受けながらも、忍耐と信仰を保っていることを、神の諸教会の間で誇りに思っています。」◆第一の手紙が届いた後もテサロニケ教会の問題は解決されなかった。間違った再臨の信仰がなかなか修正できなかったからなのだが、このように教会は揺さぶられるのは、迫害や患難を受けて、信仰が成長していくからではないだろうか。いわば「成長痛」だ。何もなければなまめぬい信仰しか持ち得ない。苦難に遭うが、御言葉にも取り扱われ、真の信仰が培われていくのだと思う。

●賛美 / 222 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

テサロニケの信徒への手紙二第2章15節「きょうだいたち、しっかり立って、私たちが言葉や手紙で伝えた教えを固く守り続けなさい。」◆恐ろしいのは、神の御名を語って惑わす者である。その内容を聞いて、一見信仰深く思うようなことを言うかも知れない。だが、私たちは終わりの日にあたって、このような者に気をつけなければならない。どのようにすれば惑わされることなくなくなるか。御言葉にのみ、その力がある。御言葉によって語られていなければ、それは偽りと疑ってよい。堅く立って聖書の言葉をよりどころとしていこう。

●賛美 / 223 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

テサロニケの信徒への手紙二第3章13節「きょうだいたち、あなたがたは、たゆまず善を行いなさい。」◆終わりの日を限定してしまった場合には、様々な点で問題が生じるし、また怠惰な信仰があらわになる。例えば「12月31日に再臨がある」とすると、12月30日までは「終わりは来ない」と安心し、怠惰になる。また、悔い改めにしても、付け焼き刃のように「本当の悔い改め」ではなくなる。終わりの日は来る。だが、最も必要とされ、求められているのは、終わりの日を限定して騒ぐのではなく、一日一日、「たゆまぬ良い働き」をすることである。

●賛美 / 224 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】 ◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

テモテへの手紙一第1章12節「主は、私を忠実な者と見なして、奉仕の務めに就かせてくださったからです。」◆テモテはパウロの愛弟子であり、若くしてエフェソ教会を任された人物であった。そのテモテの牧会を助けるべく書かれたのがこの手紙である。パウロがどんなにかテモテを心配していたかがわかる。その中で、これこそが最も大切な、基本中の基本だと示したのが、「自分の救いの経験」である。どんな働きをするにしても、自分の原点にかえることが大切である。信仰の原点がしっかりしているかぎり、何度も立ち上げられるのだ。

●賛美 / 225 ●祈禱課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】 ◆礼拝出席の平均が40名以上となり、受洗者が3名以上与えられるように祈りましょう。

テモテへの手紙一第2章4節「神は、すべての人が救われて、真理を認識するようになることを望んでおられます。」◆多くの日本人にとって、神は「罰を与える」恐ろしい存在として受け取られている。だから、キリスト教信仰に対しても同様に「枠の中に押し込められる」印象をもち、同時に戒律にしばられるとの思いを抱く。だが、聖書の神は、様々な戒律を守ることで救われるとは言っていない。私たちに救いの道を明らかにし、真理をさとるよう導かれる。人間は真理を悟ることによって初めて生きることができからである。

●賛美 / 226 ●祈禱課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】 ◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

テモテへの手紙一第3章15節「神の家でどう振る舞うべきかを知ってもらうためです。神の家とは、真理の柱であり土台である生ける神の教会です。」◆教会のリーダー像について書かれている箇所。「自分から働きかけずとも、用いられていく人がいる。そのような人は、真理に基づいてそれを柱、基礎としているからだ」と記されている。自分の価値観を押しつけて、支配的にふるまおうとしたならば、何らかの形で問題が起こってくるが、真理を自らの生き方の柱にするなら、どんなところにおいても治められ、また用いられていくはずである。

●賛美 / 229 ●祈禱課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】 ◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

テモテへの手紙第4章13節「私が行くまで、聖書の朗読と勧めと教えとに専念しなさい。」◆パウロは巡回伝道者としての使命から、多くの地域を訪ねて福音を説いたが、一つの教会に専念して牧会しようとはしなかった。だからパウロは、「御言葉」委ね、「御言葉」に親しむことを教え続けた。「私が行くまで」は、来るべき主の日に至るまで、とも受け取れる。その時まで、毎日気をめくことなく、聖書を読み、受けた恵みを証し、多くの集会に出席することに関心をはらうべきである。私たちの毎日は大丈夫だろうか。

●賛美 / 230 ●祈禱課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ルカによるふくいんしよ 6: 1~11】

「あんそくびのしゅ」

(ルカ 6: 5)

あんそくびってきいたことがありますか。
エジプトをだっしゅつしたモーセとたみたちがあれのをあるき、シナイざんまできたときです。モーセはかみさまによばれ、これから、かみさまをしんじてあゆみつづけられるように、「りっぽう」をあたえられました。そのことばをまもっていれば、かみさまによって、しゅくふくされつづけていきます。

そのなかに、「あんそくびはかみさまのことだけをおもっうひととして、たいせつにしなさい」とのやくそくがありました。7にちに1ど、かみさまをおもってすごすので、はたらくことをしてはいけません。かみのたみたちはそれをずっとまもってきました。

このひ、イエスさまがでしといっしょにむぎばたけのあるところをあるいていました。すると、でしたちがむぎのほをつんで、たべ

はじめたではありませんか。それをみていたファリサイはのひとがいました。「きょうはあんそくびではありませんか。むぎをつむことははたらくことですから、かみさまとのやくそくをやぶることです！」

イエスさまはそのひとにいました。「きそくをまもらせることがかみさまのおかんがえではありません。いまあなたがたはきそくをまもらせることだけをかんがえて、みんなをとりしまっていますが、あんそくびのほんとうのいみははたらかないようにするのではなく、かみさまをおもい、かみさまがわたしたちをどんなにあいしてくださっているかをかんじるひなのです。」

そしていました。「ひとのこはあんそくびのしゅです」。これは、あんそくびをつくったのは、わたしだといわれていることばです。

わたしたちは、にちようびをあんそくびとしてれいはいをささげています。でも、まいにちがかみさまをおもっうひ、あんそくびであるべきだと、イエスさまはおしえられたのです。

●かんがえてみよう

☆このときでしたちはなにをしましたか。(ルカ6: 1)

☆それをみていたファリサイはのひとたちはなんといいましたか。(ルカ6: 2)

☆イエスさまはさいごにそのひとたちになんといいましたか。(ルカ6: 5)



なむむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ほをつんだでしたち

	を	ち			ほ	だ	で	た
だ		で	ち	を			ん	つ
つ	ほ		た	だ	で			ち
で	つ	し		ほ	ち	た		
		た	を		つ	ん	ほ	で
ほ	ん			で		ち	つ	し
た	ち	ほ			を		だ	ん
ん			ほ	た	だ	で		を
				ち	ん	つ	た	

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① なのそばえん
- ② ばぎむけた
- ③ あくそびん
- ④ くくふう

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「逆走」

自分がいくら気をつけていても、とんでもない相手に被害を被る、しかもそれが死につながるとしたら、いたたまれません。

最近特に目立つのが「逆走」です。高速道路では死亡事故に直結するので、なんとか根絶しなければならぬ事案ですが、自分が逆走していることに気付いていないケースが多いため、後を絶ちません。高齢者だけでなく、走行の左右が違う外国人も間違える可能性が高いとされています。

私は、日本に来て初めて運転する韓国の方の隣にのって、補助をしたことがあります。右折の際に反対車線に向かって行って、焦ったことがありました(とっさに横からハンドルを切りました)。

日本と同じ左側通行の国で有名なのはイギリスです。ですから、イギリスの旧植民地だった国もそのまま左側通行になっているようです。例えば、インド、オーストラリア、ニュージーランド。中国は右側通行なのに、香港は左側通行です。沖縄は復帰してから左側通行になったので、当初は事故が多発したそうです。

なぜ日本が左側通行になったのか。人力車が鉢合わせしたら左に避けるようにとのルールがあったからだとの説が有力です。

聖書ふれあい街歩き

●ガダラ(ゲラサ)

主イエスが、悪霊に取りつかれた人の悪霊を豚の群れに移し、いやした記事が3つの福音書に記されています。

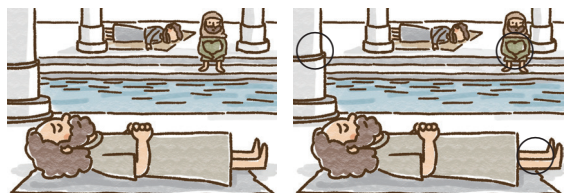
マタイは「向こう岸のガダラ人の地方」(8:28)、マルコとルカは「ガリラヤの向こう岸にあるゲラサ人の地方」(マルコ 5:1)、(ルカ 8:26)と、呼び方が違うのですが、記事の内容からして、同じ場所であることがわかります。ご承知の通り、マタイはユダヤ人が理解できるように心がけて書いていますので、ゲラサよりもガダラのほうがよいと判断したのでしょう。

向こう岸とは、主イエスの活動の中心地であったカファルナウムから見た位置で、ガリラヤ湖の東南にあたります。この付近は異邦人の寄留地で、まさに「異邦人のガリラヤに栄光が与えられる」とのイザヤの預言(8:23)通りの状況になっていました。それを示すのが「豚の群れ」です。律法に抵触するためユダヤ人は豚に近づかなかったので、外国人が住んでいた証拠になります。ちなみに、落ちぶれた放蕩息子(ルカ 15:11)が「豚の世話」をしていましたが、このあたりに来た設定だったのかも知れません。また、悪霊が「レギオン」と名乗っていますが、これはローマ軍の「軍団」の単位です。

ななめ聖書 先週のこたえ

じ	ゆ	の	つ	ま	だ	ん	や	り
つ	ま	や	り	ん	ゆ	じ	だ	の
り	だ	ん	の	や	じ	ま	ゆ	つ
の	つ	じ	ん	ゆ	り	だ	ま	や
ん	や	ま	だ	つ	の	ゆ	り	じ
だ	り	ゆ	や	じ	ま	の	つ	ん
ま	の	り	じ	だ	つ	や	ん	ゆ
ゆ	ん	つ	ま	の	や	り	じ	だ
や	じ	だ	ゆ	り	ん	つ	の	ま

- ① いくつかのいろ
- ② ながいあいだ
- ③ ひつじのもん
- ④ べとざた



聖書を引用し

パウロは、いつものように、会堂へ入って行き、三回の安息日にわたって聖書を引用して論じ合い、

「メシアは必ず苦しみを受け、死者の中から復活することになっていた」と、また、「このメシアは、私が伝えているイエスである」と説明し、論証した。それで、彼らのうちのある者は信じて、パウロとシラスの仲間になった。その中には、神を崇めるギリシア人が大勢おり、貴婦人たちも少なくなかった。

しかし、ユダヤ人たちはそれを妬み、広場にたむろしているならず者たちを抱き込んで暴動を起し、町を混乱させ、ヤソンの家を襲い、二人を民衆の前に引き出そうとして攫した。

(使徒言行録17:1～17:5)



古代ギリシア人

【神を崇めるギリシア人】

会堂に集っていた人たちは、常に旧約聖書の言葉を耳にしていた人たちでした。パウロはその旧約聖書に書かれているメシアは、主イエスなのだと伝えました。

ここで重要なのが「聖書を引用して」語ることでした。パウロの主張に何の根拠もなかったら、教えそのものに力はありません。何かの新興宗教に過ぎません。「完結していなかった旧約聖書の救いが、主イエス・キリストの出現によって成就された」のですから、それに関連した聖書の箇所を引用し、悟らせる必要があったのです。

マタイはユダヤ人が理解しやすいように、重要な場面ごとに旧約聖書を引用しています。例えば、「このすべてのことが怒ったのは、主が預言者を通して言われたことが実現するためであった。『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる』」(1:22～23)のように、複数箇所旧約聖書を引用し、福音書全体を通して「旧約聖書で預言されたメシアは主イエスである」と主張しています。

ヘブライ大学に留学していた日本人学生が、聖書講解の授業を受けていた際、ユダヤ教のラビである教師が、イザヤ書第53章を解説する段になって「この部分は聖書の中で最も難解な部分である」と言ったと、教えてくれました。

この章は「苦難のしもべ」とも言われていて、主イエスの贖いの預言部分であり、主イエスとの関わりなしに解釈することは難しいのです。ユダヤ教の教師は主イエスが救い主メシアであることを否定していますから、その時点で、難解になるのは当然です。

さて、ここでパウロがどの箇所を引用していたのかは分かりませんが、その中に信じる者たちが起こされたことが記されています。

パウロが第一次伝道旅行で訪れたピシディア州のアンティオキアで、大説教をしたことは以前、取り上げたことでしたが、その時もパウロは会堂に入り、旧約聖書を引用しながら、主イエスが救い主メシアであることを説きました(13:13～41)。恐らく、この時も同様の論証をしたのだと想像できます。

そのアンティオキアでも、このパウロの説教を聞いた人たちの中で、「多くのユダヤ人と神を崇める改宗者とが」回心をしています。どのユダヤ人の会堂にも、改宗者がいたのです。そして、この改宗者たちが、その後の教会の中心を担っていくこととなります。

パウロの話聞いて信じた人たちの「中には、神を崇めるギリシア人が大勢」いたのは、ギリシア人の改宗者だからこそ、この福音を素直に受け入れることができたからではないでしょうか。というのも、ユダヤ人が旧約聖書を語る際、「ユダヤ人」こそが選ばれた民であり、外国人には救いが開かれていないことが強調されていたと考えられます。そのため、ユダヤ人となるため改宗し、ユダヤの習慣通り、割礼なども受けなければなりません。しかし、パウロが解説した民族を超えた救いを聞いた時、「我が意を得たり」と叫んだはず。ユダヤ人にならなくとも、ギリシア人でもローマ人でも、そのまま救いに預かることができると思ったのですから。だから、ギリシア人改宗者が大勢、万民の福音を語るパウロの話喜んで受け入れたのでした。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2024年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/13)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/11)として守ります。

四旬節(#2/14～#3/23)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/14)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/24～3/30)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/24)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#3/28)、十字架にかかられた受苦日(#3/29)と過ごしていきます。

復活節(#3/31～#5/18)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#3/31)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/9)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#5/12)となります。

聖霊降臨節(#5/19～#11/30)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/19)から

始まり、三位一体主日(#5/26)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#12/1～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/22)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/12・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/9・6月第二)
父の日(6/16・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/24・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/17～23)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#3月28日夕)
召天者合同記念礼拝(#6/9・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月23日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月7日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/15・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/3・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙二5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙一15:51など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白した者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

